

■第5回タマゴシンポジウム
The 5th Egg Science Symposium

【テーマ】 タマゴの魅力 ～タマゴが創る未来の食生活～

【日時】 2017年6月9日(金) 13:00～18:00(講演会) *12:30受付開始
18:00～19:30(交流会)

【場所】 東京大学農学部キャンパス弥生講堂一条ホール
(東京都文京区弥生1-1-1 地下鉄南北線東大前駅より徒歩1分)

【主催】 タマゴ科学研究会

【後援】 農林水産省、日本栄養・食糧学会、東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター、
NPO 食の安全と安心を科学する会 (SFSS)、キューピー(株)

参加費：講演会 2,000円(学生無料)、交流会 1,000円(講演会・交流会の参加費は当日現金にて承ります)
なお、交流会はお申込み先着順 100名様とさせていただきます。

参加申し込み：シンポジウムの参加申し込みは**弊会ホームページ**からお願いいたします。

URL <http://japaneggscience.com/> ←トップページの「**こちら**」をクリックください。

お問合せ先：タマゴ科学研究会事務局

Tel : 080-9343-1105 Fax : 03-5384-7860 Email: info@japaneggscience.com

【プログラム】(敬称略)

- 13:00～13:05 ご挨拶
関崎 勉(東京大学大学院 農学生命科学研究科附属食の安全研究センター長・教授)
- 13:05～13:15 開会のご挨拶
渡邊 乾二(岐阜大学名誉教授、タマゴ科学研究会理事)

基調講演

- 13:15～14:15 『鶏卵アレルギーに関する最近の話題』
海老澤 元宏(国立病院機構相模原病院 部長)

14:15～14:25 小休憩

セッションⅠ

- 14:25～15:05 『卵黄リン脂質の多様な機能性～食事摂取から生体調節に向けて～』
佐藤 匡央(九州大学大学院 教授)
- 15:05～15:45 『マラソントレーニングにおける卵白ペプチド摂取による抗疲労効果』
杉山 喜一(北海道教育大学 教授)

15:45～16:15 コーヒーブレイク

セッションⅡ

- 16:15～16:55 『健康食品素材としての卵殻膜の可能性』
加藤 久典(東京大学 特任教授)
- 16:55～17:35 『卵殻カルシウムは高齢女性の骨密度低下予防に関して炭酸カルシウムよりもはるかに効果的であった』
山本 茂(十文字学園女子大学 教授)
- 17:35～17:45 閉会のご挨拶
- 18:00～19:30 交流会